



原田 悦子  
(よねしろ会)

産業振興

**質** 農業は能代の基幹産業であり、農家が潤わなければ町に活気が出ないと考える。農家の収入アップの取り組み方をどのように考えているのか。

**答** 平成22年度から始まる米戸別所得補償モデル事業を活用しながら引き続き水稲と野菜等との複合経営を強力に推進していきたい。そのため野菜などの農業機械や施設の導入費用に助成を行う県や市単独の事業を活用していただく。また、22年度新規の畑作就農定着促進事業を実施し、畑作就農者の確保・育成を図りたい。

能代産業廃棄物処理センター

**質** 今後の処分場の維持管理は、処理水受け入れに対する公共下水道処理施設増設時の県の支援策についても影響があると考える。この支援策の県との交渉結果はどうかであったのか。

**答** 県の支援策については、平成22年1月14日に県へ確認を行っている。県の回答は、書面がないので確認はできないとのことだが、市としては県と市の信頼関係より約束されたものであると認識しており、引き続きお互いに共通認識できるように協議をしていきたいと考えている。

その他の質問事項

- ・リサイクル港の利用面と流通面の課題
- ・雇用の確保にどうつなぐか
- ・子ども手当



畠 貞一郎  
(大河・生々・みどりの会連合)

無料路線バスの運行

**質** 釜石市では、1998年に毎月第4日曜日に市内の路線バスを無料にし、商店街のにぎわいの創出、高齢者の足の確保に大きな成果を上げた。市として無料路線バスはどうか。

**答** 20年度からはまなす号の無料運行を9月20日のバスの日と産業フェアの開催期間にあわせ実施している。イベントなどの組み合わせで商店街振興や地域間交流を促す効果が期待されると考えるが、市の財政負担も伴い、費用対効果も考慮する必要はある。バス利用者増加のための手法等を事業者とも協議しながら検討していきたい。

イオン出店問題

**質** イオン出店問題は私たちに多岐にわたる問題を提起した。イオン撤退の際には農振計画をもとに戻すとのことだが、中活法に基づく中心市街地活性化計画の再考は。

**答** イオンからは引き続き出店の考えに変わりはないと聞いているため、仮定の話には答えることができない。

その他の質問事項

- ・齊藤市長の4年間の総括
- ・今後4年間の財政見通し



菅原 隆文  
(よねしろ会)

市長1期目の「2大目標」の検証

**質** 市長の公約、12の活性化プランを具象化した目標の、「1人でも人口がふえるように」「1円でも所得がふえるように」の1期目を終える今の思いと自己評価はどうか。

**答** 若者の定住に結びつく産業創出と雇用確保を最優先課題として、将来の核となる新規事業などを実施してきたが、経済不況により市民生活は厳しい状況にあり、総合計画市民協議会からも厳しい評価や指摘があった。この結果を真摯に受けとめ速やかに必要な施策に取り組んでいかなければならないと決意を新たにしている。

鳥取方式の芝生グラウンドは実現するか

**質** 以前の一般質問で提案し、採用予定とされる現在建設中の第四小と二ツ井小の芝生グラウンドの実現化計画と採用の経緯について。他の希望する小中学校への推進計画はあるのか。

**答** 近隣住民から飛砂対策を求められ、費用や維持管理の面から鳥取方式を検討したところ、クレイ舗装に比べ維持費の軽減が可能なこと、張り芝のような維持管理が不要なこと、寒冷地での育成に障害がないことから取り組むことにした。近隣住民から飛砂対策を求められている他の学校についても、芝生化を検討したい。

その他の質問事項

- ・市長の2期目への思いと課題は
- ・きみまち阪の問題点は解消したか
- ・フッ素洗口の実施、今後の計画は